

# 公安委員会定例会議(第4回)の開催状況

第1 日 時 令和6年2月14日(水)

午後2時03分 ~ 午後3時50分

第2 出席者 五葉委員長、佐伯委員、小野委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長  
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
総務課長

第3 議事の概要

1 佐伯委員説示

今日は万葉集についてお話しします。

天平2年の正月、万葉集編纂者の一人とされる大伴家持の父親・大伴旅人が、赴任先の太宰府で宴会を開きました。宴会には32人が参加し、梅の花にまつわる和歌を詠みました。

この歌会の序文の、「初春の令月(れいげつ)にして、気(き)淑(よく)風和(かぜやわらぎ)」という一節を典拠として「令和」という元号は選定されました。

万葉集が編纂された7世紀から8世紀の日本は、国際性豊かな時代であり、おそらく万葉の都は、様々な外国の人々が行き来して日本語以外の言語が飛び交い、仏教を始めとする新しい海外の文化がどんどん入ってくるグローバルな時代だったと想像されます。

令和という元号の典拠は、漢籍(中国古典)ではなく、日本史上初めてとなる国書(日本古典)の万葉集です。日本の元号が国際的で自由な気風に満ちた万葉集から出典されたことは非常に意義深いと感じています。

万葉集は4516首あり、生命力にあふれ心に響く歌が数多くありますが、最後の歌は鳥取で詠まれました。それは、約1260年前、因幡の国司として鳥取に赴任した大伴家持が詠んだ「新しき年の始めの初春の今日降る雪のいや重(しげ)吉事(よごと)」という新年の歌です。この歌には、年の始めの今日降るこの雪が積もるように、今年も良いことが重なってほしいという意味があります。新年を迎えるに当たっては、いつの時代もこの年が良い一年でありますようにとの思いを抱くわけですが、まさに良い年を願う歌でこの万葉集は締めくくられています。

今年のお正月は、能登半島地震という大きな災害に見舞われ、今なお大変な状況にある被災者の皆様には心からお見舞いを申し上げます。先日、石川県珠洲市で支援活動に当たった広域緊急援助隊の方から報告を受け、生活インフラが機能していない中、隊員の皆さんが懸命の救助活動や安否確認を行い、無事任務を果たされたことを知り、心から感謝申し上げます。こうした若い人たちがいる限り、どのような困難が訪れたとしても日本は大丈夫、社会は大丈夫だという勇気と希望が湧きました。被災地では、今も警察職員を含む多くの方々が懸命に復興支援活動に従事しています。今後も被災者に寄り添い、無事任務を果たされることを祈念しています。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和6年第3回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

### (3) 警察職員等の援助要求

警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。

### (4) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、27件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

## 3 報告事項

### (1) 「第17回愛媛県警察音楽隊ふれ愛コンサート」開催予定

総務室長から、「第17回愛媛県警察音楽隊ふれ愛コンサート」開催予定について報告があった。

委員から、「県警察のイメージ向上につながる取組でもあり、楽しみにしている」との発言があった。

委員から、「昨年、八幡浜市で開催された「ふれ愛コンサート」に出席したところ、「てやてや音頭」の披露もあり楽しいコンサートであった。今回も楽しみにしている」との発言があった。

委員から、「公安委員会としてもコンサートの開催を楽しみにしている」との発言があった。

### (2) 令和5年中の警察相談取扱状況

総務室長から、令和5年中の警察相談取扱状況について報告があった。

委員から、「警察職員の人数が限られている中、増加する相談業務への対応は大変だと思うが、重大事件等の抑止や県民の安全・安心につながる取組であるための確な対応をお願いしたい」との発言があった。

委員から、「相談内容が非常に幅広く、苦労も多いと思うが、警察相談の増加は、広報が浸透している証拠でもあり良いことだと思う。警察を頼りにしている県民のためにも、最後のセーフティネットとして親切的な対応をお願いしたい」との発言があった。

委員から、「相談の中には、ストーカー等、悪質な行為に悩む被害者からの相談もあると思う。そうした行為がエスカレートしないように的確に対応いただきたい」との発言があった。

### (3) 第3次愛媛県犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくり推進計画の策定

生活安全部長から、第3次愛媛県犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくり推進計画の策定について報告があった。

委員から、「県内でも凶悪犯が増加傾向にある点を憂慮している。安全で安心なまちづくりに向けて対策を推進していただきたい」との発言があった。

委員から、「犯罪が増加傾向にあることから、増加理由等を分析する

とともに、抑止に向けて適切な措置や対応を講じていただきたい」との発言があった。

委員から、「知能犯罪が増えていることも気がかりである。特殊詐欺被害のほか、今後もインターネットを利用した各種詐欺被害の増加が予想されるため、積極的に対応いただきたい」との発言があった。

(4) 情報モラル指導用DVDの作成と学校への配布

生活安全部長から、情報モラル指導用DVDの作成と学校への配布について報告があった。

委員から、「DVDの映像は見入ってしまう内容であった。ぜひ学校で活用し子供たちの情報モラル向上、被害防止に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「動画や漫画は分かりやすく、センスの良い教材だと思う。学校現場でもホームルーム等の時間を使って有効活用していただきたい」との発言があった。

委員から、「フィルタリング機能の設定・解除方法等、基本的な知識がなく困っている人もいると思う。その点も考慮して分かりやすい教材作成に努めていただきたい」との発言があった。

(5) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、苦情の受理及び処理状況について報告があった。

(6) 人事案件

警務部から、人事案件について報告があった。

(7) 警察職員の任用

警務部から、警察職員の任用について報告があった。

(8) 訟務案件に関する報告

警務部から、訟務案件に関する報告があった。

(9) 社交飲食店に係る不利益処分に伴う聴聞の実施

生活安全部から、社交飲食店に係る不利益処分に伴う聴聞の実施について報告があった。

#### 4 その他

本部長から、「委員から、万葉集にまつわる様々なお話をいただいた。大伴家持が詠んだ歌のように、いい一年を願って新年を迎えた当日に能登半島地震が発生し、甚大な被害が発生したことは痛ましく、悲しみを禁じ得ない。能登半島地震の復興支援活動は現在も継続しており、県警察からもあらゆる部門の職員が現地に赴き活動しているところ、被災者から感謝の言葉をいただいたり、被災地に向かう道中で「私の故郷のためにありがとう」と声をかけてもらったりしたことで、職員は疲弊するどころか、逆に大きなパワーをもらっている。また、被災地から戻った部隊員からそうした話を聞いた県警察職員のモチベーションも上がっている。県内においては年明けから殺人事件や交通死亡事故が相次いで発生しており、治安情勢は厳しいが、いただいたパワーを生かし、誇りと使命感を持って事件事故の捜査に粘り強く取り組み、解決に向けてしっかりと力を尽くしてまいりたい」との発言があった。

以上